

2021 年度 活動報告 (案)

I・高槻の高齢社会をよくする会

[総会]

今年度もコロナの影響で従来の密な総会を取りやめて「みなし総会」を行いました。5月6日(木)付で書面にて「みなし総会案内」及び議案書「2020年度活動報告・決算報告・監査報告、2021年度活動方針・予算案」を会員221名に送付しました。同時に賛否を書いてハガキにて返信をお願いしました。「賛成・反対」の評決文書の送付締め切りを2021年5月22日としましたので、この日を総会の議決があったとみなしました。

議案に対して「すべてに賛成」とチェックした人が159名と多数ですべての議案は原案通り承認されました。

[運営委員会]

毎月第3土曜日午前の開催を予定していましたが中止も多く、7回(4, 6, , 10, 11, 12月)実施しました。16名の委員により年間の諸行事を企画しようとしたのですが、コロナのために残念ながらほとんど中止となりました。お便りだけはと考慮して7月と10月の2回発行しました。

[理事会]

理事会は2回(4、11月)開催しました。

[井戸端会]

塚原ブロック

担当 吉田和子

塚原集会所 毎月第1木曜日 13:30~15:30

樋口恵子さんの「老いの福袋」の本を読んで、話し合ったり、手芸を楽しんだりしました。コロナの影響で中止が多くありました。

南平台ブロック

担当 中越優・洋子 山本洋子

南平台集会所 毎月第3火曜日 13:30~15:30

今年度は10月~12月の3回のみでした。男性3~4名、女性5~6名の参加があり、主として日頃関心のある話や地域情報を交換しています。前年度は軽くストレッチ体操したり、ウクレレの伴奏で歌うこともありましたがコロナ禍での制約が多くできませんでした。

来年度は地域の歴史など地誌に詳しい方のお話をお願いし、南平台地域の会員さんに広く参加を呼び掛けて再始動したいと考えています。

[行事・活動報告]

新型コロナによる緊急事態宣言などがあり、特に高齢者の多い集まりになるため、行事の企画を手探りながら検討しました。しかし、結果的に例年実施してきた総会を始め、勉強会やよくする会祭り、映画会などの行事を実施することが出来ませんでした。唯一、12月に南平台教会を借りて、パラグアイハーブ演奏会を行いました。しかし、参加者は少数だったので、少し残念でしたが、久しぶりの再会で笑顔が多く見ることが出来、楽しい演奏会でした。

[ありんこの会]

担当 中越洋子 他

今年度は20名の利用者に対して14名の支援者が年間431時間活動しました。

昨年度から引き続きコロナ禍で制限された生活の中でも、支援活動は従来通りに実施できました。定期的なゴミ捨てを4~4年半にわたって支援している方が2名、買い物・家事、話し相手などを1~1年半支援している方が4名おられます。今年度から「はむろ」の訪問介護事業が廃止になりました。当時担当していたヘルパーが「ありんこの会」の支援者として家事を支援している方が2名ありました。2016年から将棋の相手に行っていた方が1名、但し、入居しておられる施設の都合で9か月間支援が中止になりました。

昔お元気だった会員さんも高齢化に伴い身体に故障が生じ、生活上のちょっとした困りごとが増えてきています。そんな時に気軽に「ありんこ」に電話依頼することで「本当に助かってます」と言われるとやりがいを感じます。利用者からの依頼内容に応じて対応可能な支援者の住いの距離などを考えつつ調整していますが、支援者が固定する傾向はあります。新規の希望者は今後増えると思われれます。そこで支援者がもう少し増えて欲しいことです。“えう、支援者”

[認知症を理解し地域で支える会への支援]

報告 中越 優

団体会員として支援しています。会員4名が毎月の定例会に参加して行事の企画実施に関わっています。認知症の人と家族のための情報交流・相談会は予定通り7月、11月、3月の3回実施しました。コロナ禍のため、やむを得ず参加人数を新規中心に15名以下に制限し、支援スタッフ10~12名、介護経験者5~6名で運営しました。参加者の約半分は新規の参加で、少人数のグループなので十分に話が出来ました。初めは硬い表情で疲れて混乱していた人も、終わるころには明るい表情になるのを見て励まされます。最近では認知症の情報も豊かになっていてよく勉強されている人が増えました。例えば認知症の祖母が同じものを冷蔵庫に入れていると孫が「おばあちゃんこれ好きやからもらっていい?」と上手に言う。漫画で勉強しているという。勉強になります。

なお、介護職員向けの研修は今年も実施できませんでした。

[ほっこりカフェ氷室への支援]

報告 中越 優

毎月第4金曜日10時から、高槻バプテスト教会の会場をお借りして開催していた

カフェは予定通り実施できませんでした。認知症の人と家族、支援者と皆で食事を準備して共に楽しく食べるプログラムが出来なかったことは残念です。やむを得ず午後に近況報告で互いの状況を共有し、体操やグループ懇談を5回だけですが楽しく行いました。この間二人の方が入院され、一人は施設から外出できませんでした。コロナ禍で大切な人との交流が制限され、カフェ本来の役割を考えさせられた1年でした。なお、「よくする会」会員の5名が運営や体操指導に参加しました。

[よくする会だより]

担当 石田千賀子 他

第72号～第73号を発行して皆様にお届けしました。

[ホームページ]

アドレス <http://www.hamuro.org>

担当 松井史枝

コロナ禍に翻弄され続けた2年間、ホームページにアップできるような行事やイベント、デイでのレクリエーションも無く、ただ新着ニュースにコロナ対策や、コロナ対策会議の記事を、アップしたのみでした。

とても寂しくつらい期間でした。来期こそコロナも終息し、穏やかな年度になりますよう祈るばかりです。

[2021年度 ご寄付者名（敬称略）]

青木苗子、雨森恂子、岩田久枝、奥田紀世子、佐藤あさこ、志水紀代子、高橋多恵、中越洋子、平田富子、前川壽、松浦絢子、松本寿子、山本せつ、山本洋子（五十音順）その他多くの匿名の方々。多額の寄付や物品のご寄付も頂いております。たくさんのご寄付ありがとうございました。

「よくする会」の活動が皆さまのご寄付により支えられている事を心より感謝申し上げます。

II・つどいの家「はむろ」活動報告

[事業報告]

担当 黒柳厚雄

2021年度は新型コロナ禍2年目に入り、感染防止対策と収益の改善に取り組みながら進めてまいりました。

つどいの家「はむろ」としてのサービスを維持した上で業務の効率化を図るために、スタッフの理解と永年経験スタッフの献身的な支援に支えられた一年でもありました。

介護報酬改正で個別機能訓練加算の参入が可能となったこと、併せて新設された科学的介護推進計画（LIFE）の加算を活用することで、増収に取り組みを致しました。これには利用者のご理解と、ご協力をいただき進めてまいりました。

2021年度も先が見えたかなと思った2月、新型コロナに襲われてしまい保健所より

7日間の休業指示があり利用者様、ご家族様、居宅介護事業所様及びスタッフ一同に大変なご迷惑、ご心配をお掛けしてしまいました。

2022年度を迎えるにあたり、新型コロナと共存していく上での、感染防止対策とサービスの在り方にさらなる工夫を求められる年になるかと思えます。

[ボランティア]

担当 丸山けい子 他1名

昨年度に引き続きコロナ感染防止の為、ボランティアさんすべてに自宅待機をお願いすることになったことを、申し訳なく思っております。

利用時間が短縮された事により、一芸ボランティアさんによるパフォーマンスの時間が無くなり、全面的にお断りしました。

台所のお手伝い等は退職した職員、ベテランの職員が仕事のない日をボランティアに充てて下さいました。また、少しでも負担を軽減するために、使い捨て食器を利用するなどして、何とかやってきました。

[地域密着型通所介護 (デイサービス)]

担当 西村照美 他9名

今年度も新型コロナウイルス感染防止対策に気の抜けない始まりとなりました。徹底した感染防止対策を行っていたにも関わらず、今年2月にコロナ感染者を出してしまい、約一週間休業することになりました。

プログラムでは利用者さんに大好きな歌を歌って頂くことが出来ていません。それに代わるレクリエーション(間隔をしっかりとって行う夏祭りの盆踊りや春と秋の運動会等)を考え、歌を歌わなくても体を使って楽しめるプログラムを提供させて頂き、大好評でした。

週に1回のスタッフの抗原検査を始め、引き続き感染防止対策をしっかりと行い、利用者、スタッフが一緒に楽しめるプログラムを考え提供させて頂ければと考えております。

デイサービスの大きな変化としては、4月よりサービスの提供時間を9:55~15:10と以前より、1時間短くしました。また、個別機能訓練と運動器機能向上を取り入れました。コロナ禍で身体を動かす機会が減少している日常において少しでも運動する機会を増やして頂き、筋力低下防止に繋がればと考えて実施しています。

まだまだコロナ終息の兆しは見えませんが、気の抜けない日常ではありますが、利用者の方に楽しく安心して過ごして頂ける様に、スタッフ一同努力していきたくと思っています。

[居宅介護支援(ケアプランセンター)]

担当 不破直子 他2名

現在、3名のケアマネジャーで約60名の利用者様を支援しています。

昨年に引き続きコロナはおさまらず、利用者様・家族様の困り事は増える一方です。ケアマネジャーのできる事は限られておりますが、ご本人・ご家族様に寄り添い少しでも意向に近づけられるよう医療従事者や介護サービス関係者を交えて意見交換を行っております。

今後もケアマネジャー各々が専門職として、利用者様の代弁者として柔軟な対応を行

いながら支援していきたいと思います。

[スタッフ会議]

管理者ミーティング	毎月第3金曜日	
スタッフミーティング	毎月最終金曜日	デイサービス、居宅介護支援と事務のスタッフが参加。情報交換や研修を行い、最終意志決定機関となっている。
デイミーティング	毎月第2金曜日	
プログラムミーティング	毎月1回（不定期）	
ケアマネミーティング	毎月1回（不定期）	
ナースミーティング	毎月第2火曜日	
メニュー会議	「いきいき会」と年2回程度	昼食メニューの検討

その他、コロナ対策委員会、送迎ミーティングなどを随時行った。